

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成 29 年 7 月 6 日 (2017.7.6)

【公開番号】特開 2015-26370 (P2015-26370A)
 【公開日】平成 27 年 2 月 5 日 (2015.2.5)
 【年通号数】公開・登録公報 2015-008
 【出願番号】特願 2014-121633 (P2014-121633)
 【国際特許分類】

G 0 6 F 3/041 (2006.01)

G 0 6 F 3/044 (2006.01)

【 F I 】

G 0 6 F 3/041 6 4 0

G 0 6 F 3/041 4 9 5

G 0 6 F 3/041 4 5 0

G 0 6 F 3/044 1 2 9

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 5 月 24 日 (2017.5.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

有効領域及び非有効領域が定義される基板と、
 前記有効領域上に配置され、位置を感知する感知電極と、を含み、
 前記有効領域は、
 第 1 有効領域と、
 前記第 1 有効領域に隣接して配置され、前記第 1 有効領域と異なる方式により駆動される第 2 有効領域と、を含み、
前記第 1 有効領域は平面領域であり、
前記第 2 有効領域は、前記第 1 有効領域から撓む曲面領域であり、
前記感知電極は、前記第 1 有効領域に配置される第 1 感知電極及び第 2 感知電極を含み

、
前記感知電極は、前記第 2 有効領域に配置される第 3 感知電極を含むことを特徴とする
 タッチウィンドウ。

【請求項 2】

前記第 1 感知電極、前記第 2 感知電極及び前記第 3 感知電極は、前記基板の一面上に直接
接触して配置される、請求項 1 に記載のタッチウィンドウ。

【請求項 3】

前記非有効領域は、前記有効領域の 4 側面のうち少なくとも一側面に配置され、
前記基板の非有効領域上には、外郭ダミー層、及び前記感知電極と電氣的に連結される
配線が配置される、請求項 1 又は 2 に記載のタッチウィンドウ。

【請求項 4】

前記第 3 感知電極は、前記第 1 感知電極または前記第 2 感知電極のうちのいずれか 1 つから延びる、請求項 1 ないし 3 のいずれか一項に記載のタッチウィンドウ。

【請求項 5】

前記第 2 有効領域は、前記第 1 有効領域から撓む、請求項 1 ないし 4 のいずれか一項に

記載のタッチウィンドウ。

【請求項 6】

前記第 2 有効領域は、前記第 1 有効領域の側面に配置される、請求項 1 ないし 5 のいずれか一項に記載のタッチウィンドウ。

【請求項 7】

前記非有効領域は、前記第 2 有効領域の側面に配置される、請求項 1 ないし 6 のいずれか一項に記載のタッチウィンドウ。

【請求項 8】

前記非有効領域は、前記第 1 有効領域の側面に配置される、請求項 1 ないし 7 のいずれか一項に記載のタッチウィンドウ。

【請求項 9】

前記第 1 感知電極及び前記第 2 感知電極は互いに異なる物質を含む、請求項 1 ないし 8 のいずれか一項に記載のタッチウィンドウ。

【請求項 10】

前記第 1 感知電極、前記第 2 感知電極、及び前記第 3 感知電極のうちの少なくともいずれか 1 つは伝導性パターンを含む、請求項 1 ないし 9 のいずれか一項に記載のタッチウィンドウ。